

まごころだより

2017年4月号

桜の開花予測が出るようになりましたが、「三寒四温」まだ寒い日もあり、なかなか春を実感できません。でも、食卓にフキノトウが上り春本番もうすぐです。

私事になりますが、この1月に孫が生まれました。その孫のお食い初めのお祝いをするというので、娘が生まれた時に祖母からプレゼントされた食器を贈ることにしました。それは普段使いの陶器のセット製品です。娘は離乳食の時から小学校にあがる頃まで毎日のように使用していたのですが、割れも、欠けもせず、娘が使わなくなってからも食器棚の中に置いてありました。それを孫に贈ろうと思ったのです。その食器には、祖母の孫に対する想いが込められています。そこに親としての私たちの想い、娘の想いが加わり、30年たった今、孫につながっていかうとしています。単に「お下がり」としてつながっていくのではなく、そこに込められた多くの人の想いも一緒に伝わり、つながっていくのです。



さて、私は年末に体調を崩し入退院を繰り返しています。そのため、この3月に次の者にまごころのバトンを渡し、継いでもらうことにしました。しかし、「継ぐ」というのは、単に「まごころ」という施設を継いでいくことではありません。12年間紡いできたまごころの想いを「継ぐ」「つないでいく」ということです。「想い」は形がなく、つないでいくことの難しさを感じていますが、これからもまごころが「まごころ」であり続けるような色々な形がかかり続けたいと思っています。

左の写真は3月2日に魚津市長がまごころに来て下さった時のものです。私たちは去年11月末、市長を訪問し「まごころが行っている地域に向けての活動への理解」と、「合同庁舎や付近のビルを災害時の避難場所に加えること」を訴えました。更に是非現場を見てほしいとも要望し、それに応える形で3月の市長訪問が実現しました。私たちは、高齢化が進む魚津が住みよい街になるよう、これからも働きかけや活動を広げていきたいと思っています。

4月の予定

3日(月)	小物づくり
6日(木)	ハーモニカ演奏
11日(火)	林夫妻の歌謡ショー
13日(木)	ピアノ演奏
19日(水)	絵菜またはお菓子づくり



農作業のボランティアを募集しています。

ご協力をお願いします。